

3 プロジェクト | ①若年者向け消費者教育

教育委員会との連携

消費者くらし政策課
(知事部局)



教育委員会



◎現役教員の配置

○県消費者情報センター

- ・研修生1名
- ・平成15年度～

○消費者くらし政策課

- ・職員1名
- ・平成29年度～

◎消費者教育研究実践校

- ・平成25年度～
- ・累計：R1まで45校

◎「エシカル消費」リーディングスクール

- ・平成29年度～
- ・H29：2校 H30：+1校 R1：1校

◎高校における「エシカルクラブ」

- ・平成29年度～
- ・H29：12校 R1までに全公立高校
- ・H30：28校

消費者庁作成教材「社会への扉」全高校での授業展開について

H30.3.13◎授業実践報告会 意見交換会での配付資料

1 教育委員会との間での意思決定 (手順・時期の確認)

★ 注意) 教育委員会とは
施策推進の意思決定手順や時期が異なること。

□学校においては
年度当初に授業計画や学校行事を確定させている。
次年度の計画は、前年度から綿密なすり合わせが必要。

○校長会での説明
・年度当初の校長会において、
実施内容を伝達すること。
・年間を通して随時情報を伝達し、
理解をいただくこと。

○学校への依頼文書の作成・発出
・アンケート実施・授業視察等には、
文書による依頼が必要。
・誰から誰に依頼するのか等を十分検討し、
適切な文書を発出。

2 現場目線に立った教材の活用

★ 注意) 「社会への扉」を
そのまま授業で使うのではないこと。

□学校の特色や生徒の実態に応じて
授業展開ができるようにすべき。

- ・授業内容や使用教材は、
学校・教員の裁量にまかせるべき。
- ・生徒の実態に応じて
教材をカスタマイズできることが望まれる。

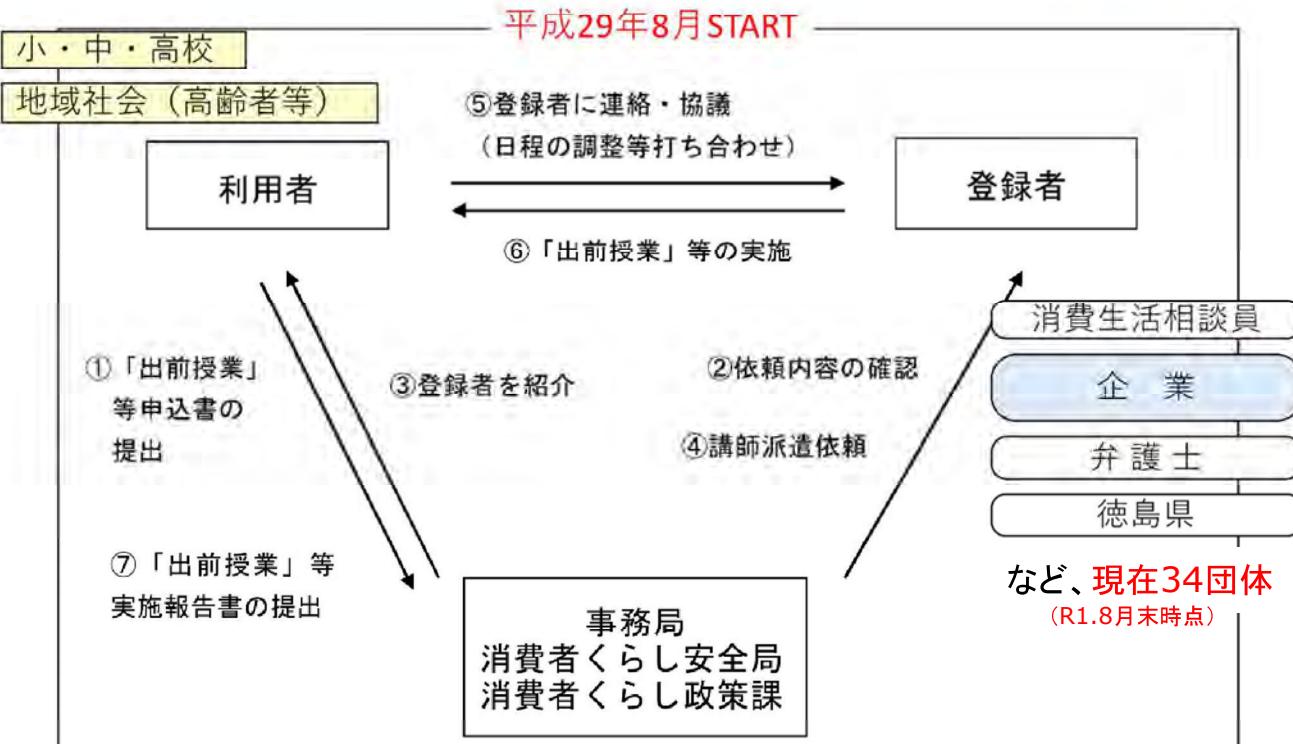
(要検討)

- 『教材をデータ化しパワポ等で活用しやすくする。』
- 『随時、最新事例を提供できるようにすること。』

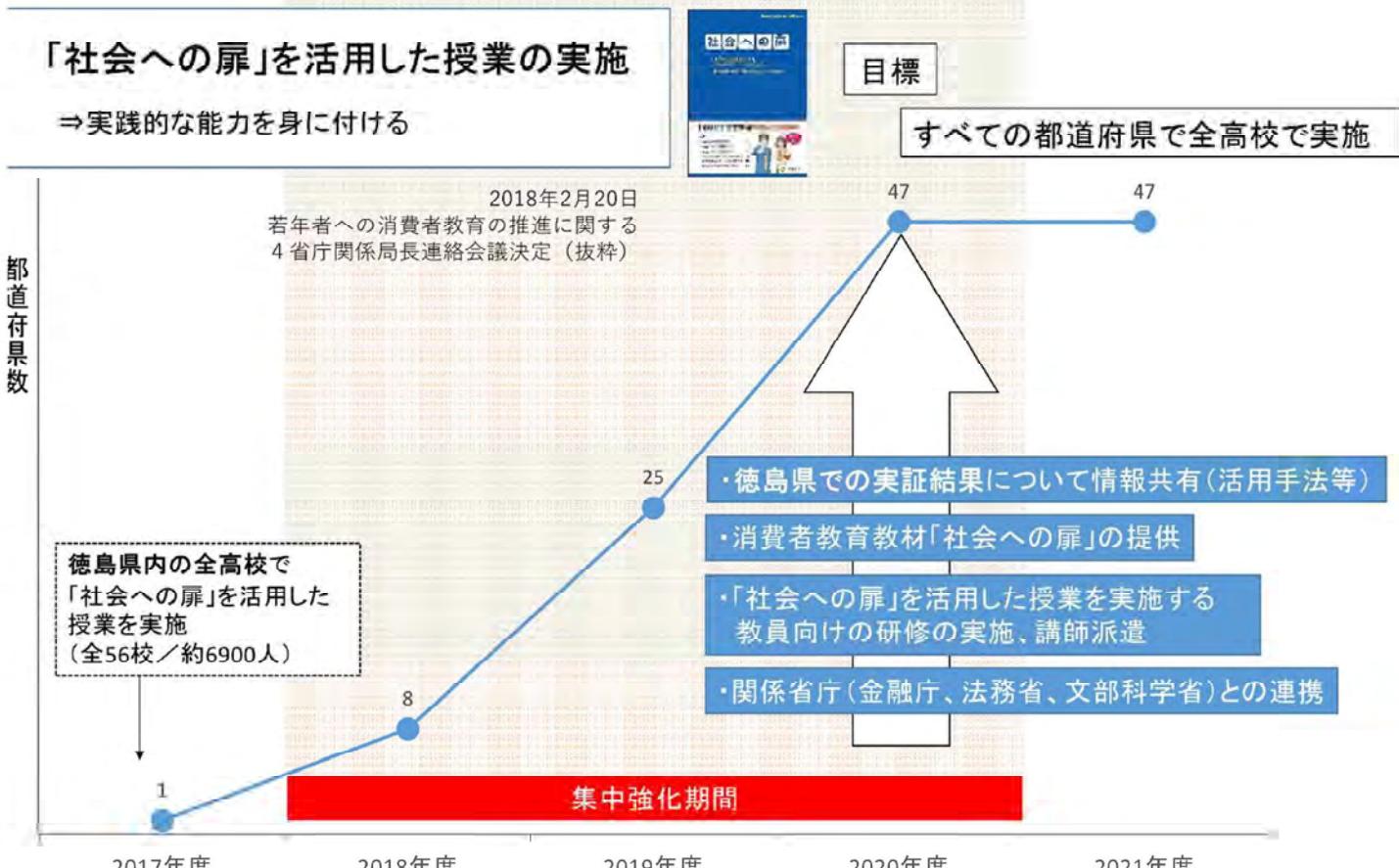
□学校へのきめ細かいフォローが重要。

- ・学校からの問合せ等には、
教育委員会と情報を共有し対応する。
- ・授業の方法について、
適切に情報提供やアドバイスを行う。

とくしま「消費者教育人材バンク」を開設しました！



(国) 若年者への消費者教育の推進に関するアクションプログラム



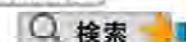
消費者教育教材

「社会への扉」の徳島県における活用事例集

消費者庁は、消費者行政新未来創造オフィスのプロジェクトとして、若年者への消費者教育の推進を図るため、平成29年度、徳島県内の全ての高等学校等56校で、「社会への扉」を配付し、同教材を活用した授業を実施しました。

本事例集は、授業参観ができた20校（全日制、定時制、特別支援学校、高等専門学校）について、各先生が試行錯誤や工夫の上、実施された授業例を広く全国に紹介することで、全国の高校等における実践的な消費者教育の取組の参考にしていただくことを目的として作成したものです。先生によって教え方が違うように、「社会への扉」の活用方法は、それぞれの学校で異なり、多種多様であったところ、本事例集は活用方法の一例を示したものです。

社会への扉 活用事例集



本事例集の内容



《各授業の内容を紹介【事例1～20】》

- ・各授業の形式や流れなどを指導案のような形で紹介
- ・「社会への扉」の活用箇所や活用のタイミングを紹介
- ・授業実施者、授業を受けた生徒のコメントを紹介

事例
1～20

- ・家庭科で活用した事例（事例1～10）
- ・公民科で活用した事例（事例11～13）
- ・総合的な学習の時間で活用した事例（事例14）
- ・ホームルーム活動で活用した事例（事例15～16）
- ・外部講師による出前授業で活用した事例（事例17）
- ・特別支援学校で活用した事例（事例18～20）



《「社会への扉」の内容順に沿って活用事例を紹介【事例A～E】》

- ・板書や写真、イラストなどを交えて、授業における「社会への扉」のアレンジ例を紹介

事例
A～E

- ・「消費者が主役の社会へ（P.1～2）」の活用事例（事例A）
- ・「契約について理解しよう！（P.3～6）」の活用事例（事例B）
- ・「お金について理解しよう！（P.7～9）」の活用事例（事例C）
- ・「消費生活センターについて知ろう！（P.10）」の活用事例（事例D）
- ・「あなたの行動が社会を変える！（P.11）」の活用事例（事例E）



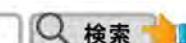
《ワークシート【参考資料】》

- ・各授業で使用したワークシートを紹介
- ・本事例集のほか、消費者庁のホームページ上にワード、エクセルなどのダウンロードできる形式で掲載

ワーク
シート

- ・18種類のワークシートを紹介（P.1～39）

消費者庁 社会への扉



3 プロジェクト | ②エシカル消費の普及

消費者庁と県が連携して実施しているプロジェクトについて

②エシカル消費の普及

動画はこちら



「倫理的消費（エシカル消費）」は、国の消費者基本計画において「地域の活性化や雇用などを含む、人や環境、社会に配慮した消費行動」と定義されており、消費者が社会的課題の解決を考慮したり、課題の解決に取り組む事業者を応援したりしながら、消費行動を行うこととされています。

このため、市町村や大学、企業、地域等と連携し、「エシカル消費」の認知度向上や取組の支援など、県内外でのエシカル消費の普及推進やムーブメントづくりを行います。

H29年度

●徳島県でのエシカル消費の意識調査

H30.2消費者庁調査 徳島での認知度 **26.4%**

(H28.12類似の全国調査は6%)

◆とくしまエシカル消費推進会議の設置

地方では初となる消費者・事業者・行政が一体となった

エシカル消費の推進母体「とくしまエシカル消費推進会議」を設置

◆エシカル自主宣言（20事業者）

宣言を行った事業者、団体、自治体へのヒアリング実施

◆消費者大学校大学院に「エシカル消費コース」を新設

◆高校にリーディングスクール設置・エシカルクラブ結成

◆「エシカル・ラボ in 徳島」の開催

◆エシカル通信、ツイッターによる広報

R1.6末時点
リーディングスクール: 1校
エシカルクラブ: 40校



エシカル・ラボ in 徳島



吉野川高校 エシカルカフェ

H30年度

●徳島県でのエシカル消費の意識調査 (H31年度まで毎年実施)

H30年度消費者庁調査 徳島での認知度 **34.2%**

(H29年度調査より7.8ポイント増加)

●先進的取組の事業者等へのヒアリングや事例集の作成

◆エシカル自主宣言事業者の拡大

◆全国で先進的な取組を行う自治体や高校参加の

「エシカル消費自治体サミット」「次世代エシカルフェス」開催

【自治体サミット参加自治体・団体】

神奈川県 NPO法人フェア・プラス（京都府推薦）
鳥取県 徳島県 名古屋市 浜松市

【エシカルフェス参加校】

駿河総合高校（静岡県）、愛知商業高校、南陽高校（愛知県）
今治西高校（愛媛県）、倉吉農業高校（鳥取県）
城西高校、吉野川高校、城ノ内高校（徳島県）



エシカル消費自治体サミット



次世代エシカルフェス

R元年度

◆県内全公立高校へのエシカルクラブ設置を目指す

◆エシカル・アワードによる優れた取組の顕彰

◆エシカル自主宣言事業者の拡大 (R1.8末時点 38事業者)

◆「徳島県消費者市民社会推進期間」に合わせた広報・啓発の集中強化

全国展開

・「エシカル・ラボ」を開催

平成28年度：徳島県 / 平成29年度：鳥取県、徳島県 / 平成30年度：秋田県、山口県、京都府
/ 令和元年度：石川県、兵庫県、静岡県、富山県

・取組事例の収集・公表

3 プロジェクト | ②エシカル消費の普及

認知度向上に向けた集中的な広報事業の展開

5月11日～5月25日は、「徳島県消費者市民社会推進期間」です。また、毎年5月は消費者庁が定める「消費者月間」。そして「世界フェアトレード月間」でもあります。これらを受けて、県では、4～6月をエシカル消費の集中的な広報・啓発強化期間とし、地方誌や新聞、市町村の広報紙など、多くの皆さんにご協力いただき、幅広い広報事業を展開しています。

県内タウン誌や新聞をジャック！

県内のタウン誌や新聞折り込みで、エシカル消費について記事を掲載していただきました。タウン誌の特集では、かわいい豚の三兄弟と、「エシカルってなあに？」というところから、身近な問題を中心に一緒に考えます。

掲載誌・新聞折り込み

- ◆CU、徳島人【6月号】
- ◆SALALA【5月下旬号】
- ◆あわわfree、Geen、WIREママ、タウトク【5月号】
- ◆徳島新聞「地域の絆シリーズNo.16」



県内の行政広報紙もジャック！

県の広報紙「県政だより OUR 徳島」をはじめ、県内市町村の広報紙でも、エシカルについて取り上げてもらいました。



こんなにたくさんのタウン誌や新聞で記事を掲載していただきました！



「消費者まつり」とコラボレーション

5月12日は消費者まつりin四国大学！「エシカル消費」をテーマにした講演などがあり、会場は盛況でした。

ブースでは、エシカルに関するパネル展示や、啓発グッズを配ったり、たくさん広報してきましたよ～！



すだちくんもPRに参加！

「#わたしのエシカルチャレンジ」Twitter投稿キャンペーン

SNSを活用した広報では、キャンペーンを実施。みなさんが取り組んでいるエシカルな工夫や習慣をツイートしていただきました。



寄せられた投稿をいくつかご紹介するね！身近なところから、気軽に始めてみましょう！



地元の野菜やお肉をおいしく・残さずいただく！

水筒（マイボトル）を持ち歩く！

エコマークなど認証マークのついた商品を買う！

*キャンペーンは終了しました。

3 プロジェクト | ②エシカル消費の普及

エシカル消費普及啓発コンテンツの制作

エシカル消費の普及啓発用「動画」「チラシ」「マンガ」を制作しました。
エシカル消費の普及に自由にお使いいただけます。

コンテンツのダウンロードは
こちらから（徳島県HP）



チラシ

子育て世代に



全世代に



高齢者に



動画



藍商人丁稚の金次郎(きんじろう)は、奉公先の一人娘の倫(りん)に一目ぼれ。心優しく思いやりにあふれた倫に想いを伝えるプレゼント選びのために、金次郎のエシカル消費の学びがはじまります…

YouTube「徳島県チャンネル」で配信中!
是非、ご視聴ください!



3 プロジェクト | ②エシカル消費の普及

エシカル消費自主宣言

エシカルな商品・サービスへの「思い」や「取組」を消費者に分かりやすく伝えるために、事業者・団体から「自主宣言」を募集しています。

エシカル消費自主宣言 大募集！

より良い社会の実現に向けて、消費者の間で環境や社会・地域に配慮した消費行動「エシカル消費」への関心が高まっています。

あなたの会社や団体のエシカルな思い（宣言）やエシカルな取組を消費者や社会に対して広く情報発信するチャンスです！

環境への配慮
人や社会への配慮
地域への配慮

優良事例については、県主催のイベント等での取組紹介や、表彰を行います

1, 石井町
2, (株)阿波銀行
3, (株)ヨコタコーポレーション
4, NPO法人あわ・みらい創生社
5, 医療法人徳松会
6, 徳島県立吉野川高等学校
7, 徳島県立城西高等学校
8, (有)ココカラハッピー
9, 板野町
10, 生活協同組合 とくしま生協
11, 阿波ノ北方農園
12, NPO法人とくしま障害者就労支援協議会
13, JA夢市場
14, イタリアンジェラート ドルチエ
15, 徳島県 企業局
16, (株)日誠産業
17, (株)キヨーエイ
18, NPO法人徳島県消費者協会
19, 障がい者就労支援センターかがやき
20, 阿波市観光協会
21, ショッピングプラザ アワーズ
22, おやつの店 taberu.
23, (株)アゲイン
24, 学校法人 四国大学

- 25, 国立大学法人 岩門教育大学
26, 徳島市環境衛生組合連合会
27, JA東とくしま
28, 徳島合同証券（株）
29, (株)喜多機械産業
30, リコージャパン（株）徳島支社
31, saai dye studio
(サアイ ダイ ステューディオ)
32, 板野町ふるさと味づくり研究会
33, (有) NOUDA
34, 夏子いなか市
35, 上板町
36, 仲野産業（株）
37, (有) うしお食品
38, 学校法人 徳島文理大学

自主宣言はこちから



とくしまエシカルアワード

「エシカル消費自主宣言」を行い、徳島県内のエシカル消費の普及推進に、顕著な功績のあった事業者および団体に対し、その功績をたたえ、広く表彰します。
令和元年度は2者が表彰されました！

● 株式会社 日誠産業

広島平和記念公園の折り鶴を再生し、商品化する「平和への想い」を繋ぐ
エシカルな取組を行う

● 特定非営利活動法人 あわ・みらい創生社

寄付付きシール「エシカル・シール」を考案し、子育て支援に取り組む



消費者市民社会の構築に関する条例 制定記念講演会

通称：エシカル条例

平成30年11月12日、消費者市民社会の構築に関する条例（通称：エシカル条例）の制定を記念し、講演会を開催しました。

「食品ロスの削減」や「フェアトレード商品開発によるカンボジア支援」などをテーマにした取組紹介や「トークセッション」が行われました。



3 プロジェクト | ②エシカル消費の普及／徳島商業高校

2018年度消費者支援功労者表彰

内閣総理大臣表彰

徳島県立徳島商業高等学校（全日制公立高校）

所在地：徳島市城東町1丁目4番1号

生徒数：808名（平成30年4月1日現在）

代表者：校長 森本 泰造

～商業高校の強みを活かし、グローバルな視点に立った「エシカル消費」の実践教育を展開～

徳島商業高等学校について

徳島県立徳島商業高等学校は、明治42年に徳島商業学校として創立され、100年を超える歴史と伝統を持つ商業高校です。これまで、徳島県の商業教育の中核として、産業と文化の発展を担う人材の育成を目指した教育を実施してきました。文武両道を実践している活気ある学校です。平成27年度には、近年の科学技術の進展等に対応するため、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成を図る文部科学省の事業「スーパー・プロフェッショナル」に、全国の商業学校の中では2番目に指定されています。

「エシカル消費」推進の取組み

徳島商業高校では、教科商業の学びを基盤として、商品開発・観光・情報ビジネス等様々な商業活動に挑戦する模擬会社を平成23年に立ち上げました。そして平成25年度からは、カンボジア-日本友好学園と連携したフェアトレード商品の共同開発に取り組みはじめ、学校運営費を支援しているとともに、グローバルな視点で「エシカル消費」を推進しています。



(1) 「フェアトレード商品」の開発

カンボジア-日本友好学園の生徒とテレビ会議や交流を重ね、商品開発のノウハウを教えることにより、現地の食材を活用した「ふれんじゅう」や「マンゴーアイス」等を開発しました。開発に向けては、地元や現地でのマーケティング調査や試食販売を重ねるとともに、カンボジア州一品国際展示会に出展することで市場調査も行いました。



(2) 学校運営費を支援

カンボジア-日本友好学園では、生徒数の急増に伴い国からの補助金では、学校の維持管理が困難な状況です。「フェアトレード商品」を開発し、市場に流通させることにより、その収益で学校の教員を4名雇用することができました。



(3) カンボジア-日本友好学園との友好協定締結

カンボジア-日本友好学園との間で取り組んでいた活動は、文化庁に認められる映画になつたり、JICAカンボジアのリーフレットの表紙に取り上げられるなどカンボジアの明日を描くプロジェクトとして、大きく期待されています。

平成27年12月14日に在カンボジア日本大使館において、本校とカンボジア-日本友好学園は友好協定を締結し、徳島とカンボジアの絆をさらに深めています。

(4) 現地生産加工場の建設

カンボジア-日本友好学園と共同開発した「フェアトレード商品」の量産体制を整えるための生産加工場を建設し、現地従業員を雇用することにより、地域経済の発展を担いたいという夢が広がり、平成29年1月に、現地で生産工場建設に向けた起工式が行われました。工場建設においては、JICA四国やJICAカンボジアをはじめとする専門家から様々なアドバイスをいただきながら、製品の安全性を確保するための分析を行うとともに、国内流通だけでなく日本への輸出も可能となるHACCP準拠工場を目指し、平成29年12月21日、カンボジア-日本友好学園敷地内に完成しました。



3 プロジェクト | ②エシカル消費の普及／徳島商業高校

(5) カンボジアから勲章、感謝状を授与

平成29年12月18日、これまでの教育振興への貢献がたたえられ、カンボジア フン・セン首相から勲章と感謝状が飯泉知事と鈴鹿教諭に授与されました。



(6) 用途開発型フェアトレードを実践

カンボジアでは万能布と呼ばれ、誰もが一般的に使用しているクロマーの存在を知りました。手作りにもかかわらず製品の卸売単価が安く利益が少ない現状に触れ、日本で好まれる商品開発を目指し、マーケティング調査やテスト販売を行い、ランチョンマット、ティッシュカバーケース等を研究・開発しました。



(7) 内閣総理大臣表彰を受賞

平成30年5月28日、こうした取組が高く評価され、高等学校では全国初となる消費者支援功労者表彰「内閣総理大臣表彰」を受賞しました。



(8) 福井内閣府特命担当大臣による学校視察

平成30年6月2日、福井内閣府特命担当大臣が来校されました。開発したフェアトレード商品を実際に見ていただくとともに、これまでの取組について発表させていただきました。

大臣からは、取組の成果を20カ国・地域首脳会合などにおいて世界に発信してほしいとの励ましのお言葉や高い評価をいただきました。



今後の取組み

これまでカンボジア-日本友好学園との連携を深め、「フェアトレード商品」の開発に積極的に取り組んできました。その過程においては、商業の学びを生かし市場調査を大切にするとともに、自分自身も消費者であるという視点を忘れず安全安心な商品の開発・流通を行ってきました。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されており、徳島県はカンボジアのホストタウンとしてサポートしていくことが決定しました。今後1年以内に、連携しているコソレファームのGAP認証取得に取り組み、完成した工場の製品が、オリンピック調達品のフェアトレード第1号となるよう目指していきたいと思います。